



## 8年目の大博覧会

### 村内に響く 太鼓の音色

9月14日、緑のシアムにて恒例となった朝日村大博覧会は第8回を数える。

秋の収穫を祝い、様々な特産品が集まり、朝日鉢盛太鼓の演奏を皮切りに各音楽サークルの演奏等で会場が湧いた。豊穣を祝う催しとして一年一年続くことを願う一方、継続するには気力・体力：「ずく」が必要である。年に一度、村民が鉢盛山のふもとへ気持ちを向けるイベントであってほしい。

## もくじ

- ・9月定例会 ..... 2
- ・全員協議会 ..... 3
- ・委員会報告・住民との懇談会 ..... 4
- ・一般質問 村政に問う ..... 5-9
- ・議員活動報告・議会活動日誌 ..... 10-11
- ・村民の声・我がむら再発見・編集後記 ..... 12

## ●「議会だより」第54号

発行日／2024年10月31日

発行／朝日村議会

〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村

大字古見1555番地1

TEL. 0263-99-2001 (代)

FAX. 0263-99-2745

Eメール: gikai@vill.asahi.nagano.jp

印刷／日本ハイコム株式会社

# 令和5年度決算認定

歳入決算額

**40億3,099万円** (前年比6.3%増)

歳出決算額

**38億6,499万円** (前年比5.6%増)

**9月  
定例会**

**9/3 ~ 13**

9月の定例議会は9月3日(火)に招集され13日までの11日間開催されました。下記の議案等について慎重審議し全案件を原案通り可決し、9月13日(金)に閉会しました。

- 承認1件……専決処分 一般会計補正予算
- 条例4件……朝日村保育所条例の一部を改正する条例ほか
- 予算4件……一般会計補正予算、特別会計補正予算(国保・介護)、公営企業会計補正予算(簡易水道)
- 認定7件……令和5年度一般会計、特別会計、公営企業会計の決算認定
- 報告2件……健全化判断比率及び公営企業会計に係る資金不足比率の報告  
教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告
- 意見書4件……女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書  
……私立高等学校に対する公費助成をお願いする意見書  
……政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書  
……国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書

## 決算審査意見(一部抜粋)

○代表監査委員 中村牧夫 ○監査委員 羽多野美映

令和5年度の決算額は歳入が40億3,099万円で前年比6.3%の増加に対し。歳出は38億6,499万円の前年比5.6%の増加となり、実質収支は1億6,204万円の黒字となったが実質収支比率は6.3%で前年比1.8%の上昇となっている。

実質収支の適正化には、歳出の不用額について年度の途中で状況を確認し、補正予算を編成し、財源を有効に活用する必要があったと思われる。

財政の状況については、経常収支比率の改善、財政力指数の上昇及び健全化指標も基準値以下であり、財政計画を基準とした執行管理が的確に行われた結果だと判断する。引き続き財政の健全化に向け取り組んでいただきたい。

## 〈主な議案〉

### ■令和6年度朝日村一般会計補正予算 5,680万円追加 総額40億8,360万円

歳入

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 1,387万円  
前年度繰越金 3,197万円 ほか

歳出

- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金・定額減税調整給付金 1,208万円
- ・小学校周辺地域レジリエンス自立分散型エネルギー設備導入事業計画策定 990万円
- ・豪雨災害箇所復旧事業 700万円 ほか



令和5年度決算を認定



## 令和5年度村のお金の使い道！（一般会計目的別主な決算概要）

### 民生費

7億4,231万円

子育て支援、国民健康保険  
老人福祉、障害者支援等

### 教育費

6億1,594万円

小中学校の維持管理、公民館・  
図書館・資料館・美術館等

### 土木費

4億6,160万円

村道舗装修繕、除雪、融雪作業  
橋架修繕、河川浚渫工事等

### 総務費

4億4,385万円

特別職・職員給与、バス運用等

### 公債費

4億3,686万円

地方債（借入金）の元利償還金

### 消防費

4億499万円

広域消防負担金、消防団運営、  
消防防災施設整備等

### 農林水産費

2億8,376万円

農業振興、林業振興、  
土地改良、有害鳥獣対策、  
農業委員会等

### 衛生費

1億7,650万円

保健予防検診、ごみ処理、  
清掃費環境衛生、  
水道負担金等

### 諸支出金

1億2,809万円

基金積立



### 商工費

1億929万円

商工会補助金、観光協会

### 議会費

5,074万円

議員報酬、議会運営費

### 労働費

1,100万円

勤労者福祉資金融資制度  
委託金等



## 全員協議会

8月7日

●小学校周辺施設再生可能エネルギー導入事業について  
村の主要施設を一括受電とし、太陽光発電設備を導入。電力を相互融通することで村のゼロカーボンを牽引。

9月13日

### ●内部監査報告

職員が互いの事務・事業をチェックする内部監査。令和5年度分歳入事務を監査対象として実施。重大な不適合はなかったと報告があった。

### ●あさひ診療所（仮称）の進捗について

建設予定地、開業医最優先候補者について報告があった。



## よりよい議会運営のため 議会に御意見をお寄せください 議会モニターを募集しています

**何をやるの？** 議会だよりを読んだ感想、定例会等を傍聴いただいた感想をお寄せいただきます。

**どうやって意見を寄せるの？** 年に2回会議を開催しています。お気軽に御参加ください。モニターと議員でざっくばらんに話をしています。

また、会議に出席しなくてもメールやFAXでお寄せいただいても結構です。



お申し込みはこちらから↓



よりよい議会運営のために  
お力添えをお願いします。

## 委員会報告 議会運営委員会報告「住民懇談会・モニター会議」

7月20日土曜日18時から住民懇談会を「議員と語ろう会」に改称し村民の皆さんとの懇談会を開催。8名の方々にご参加いただき2テーブルの車座方式で有意義な懇談会が開催できました。

9月19日木曜日19時から今年第2回のモニター会議を開催、7名のモニターの内1人の参加となりましたが、議会定例会と議会だよりへのアドバイスをいただき、相互のコミュニケーションを深めました。

両会でご指導いただきました内容につきましては今後の議会活動にしっかりと反映させていただきます。

(議会運営委員長 清沢 正毅)

## 総務産業委員会

同委員会にて陳情1件「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情」について審議し全会一致で「採択すべきもの」とした。

1979年に「女性差別撤廃条約」が国連総会で採択され日本も批准したが、1999年の「女性差別撤廃条約選択議定書」には批准していない。

この選択議定書に批准することで、差別を受けた本人が国連の女性差別撤廃委員会への通報と同委員会の調査が認められ、国際的な人権基準で女性の人権侵害の救済や性別による不平等をなくす効果が期待される。

9月13日の本会議にて採択され、関係機関へ意見書を提出した。

(総務産業委員長 齊藤 正法)

## 社会文教委員会報告「陳情審査」

委員会は9月6日(金)に開催されました。村民からの陳情もあり関心が高かったためか、傍聴席には多くの方に座っていただく中での開催となりました。今議会で当委員会に付託された陳情は全部で5件でした。

そのうち以下の3件につきましては説明員の発言や、陳情の主旨が理解できるとし採択とし、13日開催の本会議で審査の経過を報告し全会一致で議決を頂き、関係する大臣及び関係機関に意見書を送付しました。

○陳情第7号 私立学校に対する公費助成をお願いする陳情書

○陳情第8号 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書

○陳情第9号 国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情

残りの2件 陳情 第5号 小水力発電に関する陳情書と、第10号 鎖川小水力発電計画に関する陳情書につきましては、陳情者の説明を受けた後、審査した結果、今委員会では結論を出さず「継続審査」をしていくこととしました。

(社会文教委員長 中村 文映)

## 住民との懇談会

「議員と語ろう会」と改称し村民の皆さんとの懇談会が7月20日開催された。

参加者からは

- ・小水力発電所建設に関わる環境と暮らしへの不安や疑問点
  - ・食肉処理施設について
  - ・役場の住民対応への要望(障害者が暮らしやすい村、親しみやすい役場に)
  - ・村の補助金について(水路、多面的事業以外にも補助金を)
  - ・今年度改選になる選挙管理委員の選出について
- など、多岐にわたりご意見をいただいた。

懇談会終了後には、有意義な時間になり今後も定期的に開催し継続を望むという感想をいただき、私達議員は村民みなさんの声に真摯に耳を傾けながら活動していきたいと感じた。

(古池 美佐江)



8名が出席



# 村政に問う!!

一般質問とは、議場において議員が日常活動と住民の声や疑問をもとに、村政全般にわたり行政の姿勢をたずねるものです。

こちらから  
動画でご覧  
いただけます。



## ことが聞きたい 9 議員17項目

### 古池 美佐江 議員 (5頁)

- 1 個人情報の取り扱いについて
- 2 小水力発電所建設について

### 小林 弘之 議員 (6頁)

- 1 朝日村旧おひさま保育園跡地の今後の利用計画について

### 清沢 正毅 議員 (6頁)

- 1 村道安全環境整備について (第二段)
- 2 ゲリラ豪雨等による畑浸水・農作物被害への支援

### 清沢 敬子 議員 (7頁)

- 1 小水力発電事業について
- 2 「ご意見箱」について

### 齊藤 正法 議員 (7頁)

- 1 広報誌「館報あさひ」の公平性・正確性の確保について
- 2 水道管の老朽化対応と耐震補強について

### 中村 文映 議員 (8頁)

- 1 原新田工業団地の今後について
- 2 鎖川小水力発電所建設について

### 羽多野 美映 議員 (8頁)

- 1 朝日美術館への空調設置の検討について
- 2 子育て支援センターわくわく館の利用増に伴う体制強化について
- 3 保育園における運動習慣形成と体力向上のための取り組みについて

### 豊田 恵美子 議員 (9頁)

- 1 鎖川小水力発電事業に関する環境調査と計画案検討について
- 2 村の防災計画と被災時における住民との協働について

### 清澤 あゆみ 議員 (9頁)

- 1 集落支援員の成果と今後の外部人材の活用のしかたについて

### 答

避難行動支援者名簿の作成は村。住民の協力が不可欠。



古池 美佐江 議員

## 個人情報の 取り扱いについて



問 緊急時に備え、同意を得ている方々の家の間取り図と寝室等を描き込む調査を地区長に依頼することは、個人情報の保護に反すると考える。介護等の申請時に記入してもらう方法にしたらどうか。

答 個別支援計画の作成には地域の方の協力が不可欠であり、緊急時に地域で救援できるように把握しておいていただきたい。今後の調査方法については検討していく。

### 小水力発電所建設について

問 小水力発電所建設に着手するか。

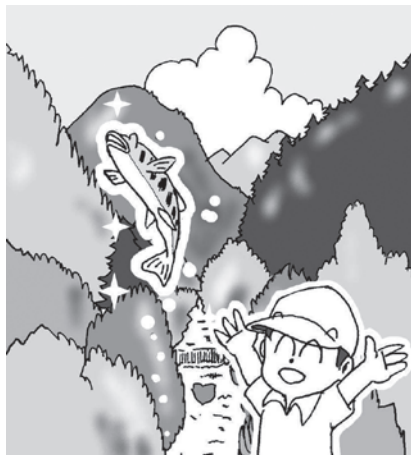
答 小水力発電は地球温暖化を食い止めるには必要であるが、村民の理解が十分得られていないので、まだ村は決定していない。

問 丁寧な説明をしていくと言う丁寧とは具体的にはどういうことか。

答 この事業は企業がすることなので、企業に住民説明会を十分にするように指導していく。それでも理解が得られなければ企業は撤退するであらう。

問 御馬越地区での合意の取り方について同調圧力があつたのではないかと疑問があるが如何か。

答 それについては知らない。そういうことがあつてはならない。







小林 弘之 議員

## 旧おひさま保育園 跡地計画は？



### 答 宅地分譲がもつとも有効な土地利用

**問** 旧おひさま保育園の跡地利用は約2年が経とうとしているが、具体的な計画案も出てきていないが村は約2年間の間に何か検討されたことはありますか？

**副村長** 宅地分譲がもつとも有効な土地利用ではないかと考えられるため、現在分譲地としての売却の検討を始めているところです。

**問** なぜその計画検討をしている内容をこれまでにでてこなかった理由

**副村長** 今までに検討してきたことに関してなかなか発表する機会が無かったと申しますか私どもが作る事が出来なかった。

**問** 旧おひさま保育園跡地は唯一の村有地であり土地購入しなくてよいことから、遊ばせておく手はないかと思っている。村はどう考え今後どう推進していきますか？



旧おひさま保育園跡地

**村長** いいタイミングでこの質問をしてくれた。村のためになるのなら一番うまく活用できる住宅地ということで行きたいと、今思っている。

**副村長** 今期中のなかでラフスケッチができ来季は基本設計に入る。

今後、行政も関係部署で集って早期課題解決に向けて総合力を発揮し取り組むことに期待します。



清沢 正毅 議員

## 豪雨による畑浸水・ 作物被害への支援を



### 答 課題として捉え関係筋と相談する

**問** 温暖化の影響で発生する線状降水帯の影響でゲリラ豪雨または局地的な降ひょうにより、大量の雨水が畑に浸水し肥えた土の流失や作物被害が頻繁に発生しており、多くの耕作者が悲鳴を上げている。こうした自然災害に村として相談窓口を設け災害見舞金あるいは災害対策支援金なるものを新設し、少しでも農業経営者の気持ちに寄り添ってやることはできないか。

**産業振興課長** 窓口機能は設けていきたい。現状県の災害緊急対策事業補助金制度を活用できるが令和7年で終わってしまう。今後JA関係者の意見も聞き検討したい。

**村長** 果樹農家への保証制度は比較的しっかりしているが、野菜農家への対応は遅れている。非常にハードルの高いテーマではあるが課題として受け止め、今後JA等と相談していく

**問** 針尾みたけ坂の道路の亀裂が激しく崩壊のリスクが高まっている。早急な対応が必要。針尾西沢から川天白への村道が障害木で通行に支障、対策を！

**建設環境課長** みたけ坂は専門技術者の意見を求めて早急に対策を検討する。

**村長** 西沢から川天白の支障木は鳥獣防護柵の維持管理上必要な措置として対応を考える。





清沢 敬子 議員

## 小水力発電、 全村民へ丁寧な説明を



**答** 村全体への説明会、丁寧な説明を、  
会社側に繰返し求める

**問** 7月7日の住民説明会での多くの質問に対して、今後の説明会の予定は？

**村長** まずは現地説明会。今は住民からの意見を元に設計を詰めている段階であり、決まったら説明会をし、本当にこの事業をやってよいのか皆で検討したい。

**問** 針尾水路は、かねてより鎖川からの取水に不安をかかえている。発電事業計画では、堰堤から取水した水が1・2kmの水圧管を通り、水路の取り入れ口の対岸30m上流へ放水されるが、水の流れが変わることにより悪影響があるのではないのか？

**村長** 取り入れ口に影響がない対策を追加依頼している。企業から聞いている方策として、河床がさらわれないようにせんくつブロックを入れる誘導する設計と、発電後の水を放水するポイントが現地点でよいのか、流量のある時ない時含めて検討する必要がある。



針尾水路頭首口

村民の声を聞きするための「意見箱」設置から1年の経過は？  
企画財政課長 令和5年7月にスタートし、村民交流ホールに設置している。今までに計10件の投書があった。回答を希望された5件は担当課より文書にて回答。  
投函箱・設置場所など分かりにくい部分は検討していく。



齊藤 正法 議員

## 「館報あさひ」の校正は？



**答** 館報編集委員が常識的な範囲内で校正している。

**問** 校正のガイドラインはあるか？

**教育長** 特に設けていない。社会通念上の様式の範囲内で校正・検討がされていると承知している。一層の公平性・信頼性を基本に検討がなされるべきと考えるが、表現・言論の自由も尊重しなければならぬ。編集の信頼性の制度を高めながら、村民に親しまれる館報作りを目指す。

**問** 水道管路の老朽化の現状把握と更新計画は？

**建設環境課長** 朝日村の水道管路は総延長で約57km。敷設後40年～60年内の経年管路は1・7km、60年以上の老朽管路は9km。令和9年度から導水管、公共施設周辺の本管の耐震工事を予定しており、老朽管路の更新計画はない。現在行っている水源開発の結果を踏まえ、施設や管路の優先度を判断して更新・耐震化へ対応する。

**問** 重要施設の耐震補強の状況は？

**建設環境課長** 上下水道の重要施設は耐震化を進めているが、避難所周辺の管路の耐震補強はできていない。

**問** 水道事業経営への取組みは？

**建設環境課長** 水道事業は25億円を見込んでいます。水道事業の基盤強化、維持可能な経営体制を確保するため、広域化を近隣市村と検討している。







中村 文映 議員

## 村は食肉施設を受け入れるのか



**答** 適地となった場合は誘致を進めていく。

**問** 食肉処理施設の移転新築先として原新田工業団地が候補地にあがっているが村は誘致するのか。

**企画財政課長** 松本市の焼却場問題の早期課題解決、優良企業誘致の両面で誘致を進めていく。

**問** 土地全体を村が工業団地として開発してはどうか。

**企画財政課長** 進出企業と協議、引き続き工場団地化を進める。

**村長** 残された土地利用は県に今後設置予定の協議会等で検討し、組織だつて地元要求として示したい。

**村も小水力発電所の調査をして欲しい**

**問** 河川や漁業、環境などの専門家の意見を聴いたか。

**村長** 小さな発電所計画であり、企業が調査をしているので村として行っていない。

**問** 村が説明する河川維持水量の数字の根拠は何か。

**村長** 企業が1年間調査した結果と、私が1年間観測した感覚的なもの



視察した京都食肉市場外観

のもある。

**建設環境課長** 数値は日本水力が出してきた資料で判断している。

**問** 村民の理解が得られない場合は中止を求めるか。

**村長** 情報不足から反対しているのではないか、説明会を必要な回数だけおこない妥協点を探っていく。

**問** 県に河川環境や住民生活に支障は無いとの確約を取るつもりは無いか。

**村長** 県が最終的な判断をするとき十分検討すると思うので一筆取るつもりは無い。



羽多野 美映 議員

## 美術館に空調設置の検討を！



**答** 最適な鑑賞環境を提供するという視点に立ち検討する。

**問** 館内の空調は現在どうなっているか

**教育長** 維持管理目的で収蔵庫と展示ケースのみ24時間フル稼働。

**問** 展示室には空調がなく、夏季の気温上昇は長時間の鑑賞に影響を与えている。空調の設置を検討できないか。

**教育長** 村として美術館をどうするか大きな命題。文化的価値、良さを維持していくことを前提に環境整備が必須だと考える。設置はランニングコストを含め費用面で大きな検討が必要となる。真剣に検討をする。



**わくわく館利用者増。体制強化、どうするか？**

**問** 職員の目が行き届く範囲で体制

が整っているか。

**教育長** 登録者152名、平日利用80〜90名で職員の定数は児童40名に対し2名の配置。現在館長含め6名の職員体制。ギリギリ定数範囲内の運営。代替えの支援員がいるのが理想だが夕方2〜3時間のため、手をあげていただけない。

**問** 子供たちが安心して安全な環境で活動するために、支援体制は強化すべきでは？

**教育長** 当村の児童クラブはだれでも利用でき通常利用時間内は無料である。子育て家庭の大きな担い手となるためにも安定した運営が必要。支援員の確保は必須と考える。







豊田 恵美子 議員

## 水利権許可は、 村民の合意で



**答** 村民に説明を行い、合意が得られない時は許可しない

**問** 日本水力（株）案にある減水区間の鎖川の流量は適切か。

**村長** 国のガイドラインの3倍の水量で環境へのマイナスは最少になっている。今後、日本水力（株）による現地説明会で、流量設定について説明が行われる予定だ。

**問** 村長は減水区間の流量設定について、渇水期に目視し実測もして大丈夫であることを確認したと説明するが、目視の流量は日本水力（株）案の維持流量の2倍の流量であることをきちんと確認していただきたい。

**村長** 日本水力（株）の維持流量は、昨年目視した渇水期の鎖川の流量より少ない流量である。

**問** 専門家の意見、漁協の意見を含め、村民とともに公開で話し合う場を村主催で継続して持っていたきたい。



0.3m<sup>3</sup>/S は渇水時流量の約半分

**村長** 日本水力（株）に、説明の場を持つよう指導し、助言していく。

**問** 朝日村における再生可能エネルギー発電設備設置事業と環境等との調和に関する条例は、河川の場合、小水力発電設置にもあてはまるか。

**村長** むりやり当てはめているということなく当てはまっている。



清澤 あゆみ 議員

## 集落支援員の成果と 外部人材の活用



**答** 明確な課題を確認し集落支援員の活用を考えていく

**問** 今までの集落支援員の成果についてはどう考える？

**企画財政課長** お助け台帳の整備、防災組織への加入推進、集落点検における課題徴収、団体・サークル紹介冊子作成、交流会の実施等、地域課題のサポート役として尽力いただいた。

**問** 今年度より一人体制となった集落支援員への村の対応のしかたについてどう考える？

**村長** 協働に結びついて活動しているようないいテーマを模索中であったため、提示するところまではいかなかった。

**問** 現在不在となった集落支援員の採用予定は？

**企画財政課長** すぐに新たに採用する予定はない。しかし明確な課題がありその課題が地域や団体間で共有



され、解決に向けた活動にサポートを必要とする場合は積極的に採用していく。

**問** 今後人材を登用する際、事務的で機械的なかわりではなく人間的なかわりをもって迎え入れてほしい。縁あって朝日村に来てくれた人を大切にしたいと思うがいかがか。

**村長** 役場だけに限らず縁あって朝日村に来てくれた人が朝日村に来て良かったと思うようになってもらいたい。

9/26

## 全国朝日会の一つである三重県朝日町視察

9月26日に三重県朝日町へ行政視察に行った。朝日町は三重県の北東部に位置し県内で一番面積が小さい自治体。その面積は中部国際空港がある空港島とほぼ同じ。丘陵地の間を通り隣接する2市を繋ぐ道路ができたのを機に737区画が分譲され、人口はH17年度7,366人からR6年度は11,065人となっており、高齢化率18.3%、年少人口割合15.9%で県内で一番年少人口の割合が高い町となっている。住宅の固定資産税3年間0円、中学生までの医療費無償化の施策により多くの子育て世代が移住した。視察した幼保一体化施設では0～5歳児まで407人の保育を75人の保育士等で行っているとのことだった。



人口増対策について

翌27日は川越火力発電所を視察。総出力約480万kw、世界最大級の火力発電所。



議員とも懇談

発電に使用する燃料は環境にやさしいLNG（液化天然ガス）。天然ガスで蒸気を作りタービンを回転させて発電し天候に左右されることなく電気を作っている。安全、安価で安定したエネルギーを各地に供給していることを学んだ。

(清澤 あゆみ)

9/13

## 大尾沢浄水場・原新田工業団地を視察

9月定例会最終日、行政視察を行った。大尾沢浄水場では浄水棟が新設され、8月より膜ろ過装置で浄水した水を送り出しているとのこと。今までは、砂利→砂→微生物でろ過し、処理水量が限られていたが、膜ろ過装置を導入したことで、ウイルスをもせきとめ不純物がない水（カルシウム・マグネシウムなどのイオンはとらない。）になり、処理水量も1.6倍になったとの説明を受けた。これからも、安心・安全な美味しい水が各ご家庭に届くよう願う。



膜ろ過装置

長野県食肉公社が運営する食肉処理施設（島内）の移転先最有力候補地となっている原新田工業団地で、建設場所予定地を確認。南から北へ抜ける工業団地中央の道路から今井よりの土地。ボーリング調査をし、水量・水質を確認中。

(清沢 敬子)

議員  
活動報告

## 地域を目で見えて聞いて参加して

議員は、議員活動日誌のとおりたくさんの諸会議・行事・研修及び視察を行っています。このコーナーでは、主な活動について報告します。



## 議会活動日誌

### 7月

- 1 月 松本広域連合議会運営委員会
- 3 水 高齢者ふれあいの集い  
松塩地区広域施設議会運営委員会
- 4 木 議会運営委員会・縄文村公園等作業  
交通安全推進協議会定期総会・交通安全住民大会
- 5 金 高山村議会視察受入  
野保沢林道愛護会
- 8 月 全員協議会・第3回臨時会  
松本広域連合臨時会 **3P**
- 11 木 松糸建設期成同盟会
- 12 金 議員研修会・議会力向上委員会
- 17 水 松塩地区広域施設組合臨時会
- 18 木 総合企画審議会
- 19 金 中学校組合議会
- 20 土 住民との懇談会 **4P**
- 21 日 鎖川河川愛護会清掃
- 25 木 松糸議員連盟長野県連絡会議会計監査・  
農業振興地域整備促進協議会
- 26 金 松糸長野県側ルート建設促進協議会

### 8月

- 2 金 県議長会役員会
- 3 土 お夏まつり
- 7 水 全員協議会 **3P**  
議会運営委員会・私学助成陳情 **4P**
- 9 金 環境保全協議会  
東筑摩郡議長会臨時総会
- 21 水 東筑摩郡議員大会 **11P**
- 25 日 社会福祉大会・  
あさひボルシチお披露目会及び「鉢盛山」  
銀嶺ヤマメプロジェクト報告会
- 26 月 公共交通協議会
- 27 火 議会運営委員会
- 28 水 富山県朝日町議会視察受入
- 29 木 森林・林業・林産業活性化促進議員連  
盟長野県連絡会議 **11P**  
松塩地区施設組合視察
- 30 金 松塩地区施設組合視察

### 9月

- 3 火 9月定例会開会  
本会議・全員協議会 **P2~P3**
- 6 金 常任委員会
- 10 火 本会議・一般質問 **P5~P9**
- 12 木 診療所開業医選考基準策定委員会及び  
診療所建設委員会
- 13 金 本会議閉会・行政視察 **10P**
- 14 土 朝日村大博覧会
- 19 木 議会モニター会議
- 20 金 朝日村戦没者慰霊祭
- 24 火 県議長会全体研修会・部会  
小水力発電事業に係り河川流量の見学会
- 26 木 議会視察研修 **10P**
- 27 金

## 8/21 東筑摩郡村議会議員大会

筑北村役場多目的ホールにて開催された。東筑5村から49名の村議会議員が出席し、国・県への要望事項の提案説明を行った。朝日村議会からは「県道新田松本バイパスの古見区間の早期完成について」を提案し、朝日村役場北交差点から古見区間の早期完成を要望した。5村議会からの要望は全て承認され、執行部である東筑摩郡村議会議長会が国・県へ要望活動をしていく。

当日は、県松本振興局長をはじめ国会議員・県会議員および松本建設事務所長・東筑5村の村長を迎え盛大に開催された。

議事後「天災地異への防災・危機管理 災害時の議員活動について」と題し、株式会社BCPJAPAN代表取締役 山口泰信氏より講演をいただいた。（齊藤 正法）



筑北村で開催

## 8/29 森林・林業・林産業活性化促進議員連盟・長野県連絡会議第29回総会・研修会

8月29日上田市交流文化センターで開かれ7名が出席した。この会議は、森林・林業等の活性化に資するため当議会も参加しているものである。「県産材の建築物への利用について」の話に耳を傾けた。国は木材利用を進め、自給率は現在約40%。地域材を使う際の、山から木材が出せない、経費がかかる等の問題解決策・コスト削減策は整理されており、後はやるだけ。カナダ・ノルウェーは18階、オーストリアは24階の高層木造がある。日本においても3階建て以下の建物は木造の方が安い。木質バイオマス等のエネルギー利用よりは建築利用の方が伸びる等、地域材利用の可能性について学びを深めた。（豊田 恵美子）

## 村民の声

### 問題点の解決と 早期行動



小野沢区長  
上條洋一さん

小野沢区長の拝命を受け、まずは区民の声に耳を傾け既に半年が過ぎました。

ここ小野沢区は新田上・新田下、本郷の三つの地区より構成されています。

区全体戸数では約170戸、人数では約500人（戸当たり人数では約3名）の住民が暮らしています。

少子化時代の今、安心、安全な村と提唱されていますがこれからの朝日村の未来についても重要な課題の一つと考えます。

区事業の他に公民館事業、地区事業等では役員、運営委員の皆様と地域活動推進の為に日頃よりご協力を頂き、本当に感謝する次第です。

ここ数年は地球環境の変化で高温、豪雨災害も数多くなつたと実感しています。

自然災害には中々、対処が難しい反面、各種情報の迅速化が求められています。

1. 継続的な安心、安全な環境、地域づくり
2. 区課題に迅速な対応を行い住みやすい地域を目指す
3. 地区間のコミュニケーションづくり

以上、3点を根幹に置き、地域の皆様、各役員の方々の甚大なご協力を介し問題点を共有、早期解決に向けた行動をしたいと考えます。

## 我がむら 再発見！

村内の施設やイベントに議員が訪問して  
その取組や要望を聞く地域密着のコーナー

### 第22弾 「ひばり家」

～朝日村の「いいトコ」がギュッと詰まった店に～



青柳さん夫婦



多彩な花卉

来年4月オープン予定の「ひばり家」オーナーの青柳勇樹・由香さん夫妻。開設準備として「日の出朝市」を企画、運営してきた。コンセプトは、二人が手掛ける花卉（かき）や農産物を販売するだけでなく、「朝日村のいいモノ、いいコト」を発信する場所づくり。朝市では多くの発見があった。農産物、加工品、雑貨など多岐にわたる「朝日のいいものたち」が集まった。開業後も続けたいとのことだが、個人での維持には限界がある。アンテナショップ的な機能を備えた「ひばり家」で提供する花は100種以上だが、季節に偏りがあり、工夫が必要とのこと。きつと村の一角に彩を添えてくれることだろう。

（羽多野 美映）

＊今年最後の朝市は11月3日縄文村にて朝日村文化祭と同時開催

## 編集後記

某県の首長が「道義的責任が何か分かりません」と発言されていますが、公職にある者としての資質に欠け、言語道断呆れてものも言えません。

小さな村の地方議員である私たちが地道な責任はしっかりと自覚し、常に意識して日々の活動に取組んでおります。が、この機会に再度原点に立ち返り我が身を振り返る中で、朝日村議会議員行動規範にもとづき、村民の皆さんの負託に応えるべく襟を正して議会活動に励んでまいります。

（清沢 正毅）

議会だより53号に次の誤りがありました。訂正してお詫言いたします。  
表紙「誤」不孝息「正」孝不息



▲こちらから  
朝日村議会の  
ホームページを  
御覧いただけます

発行責任者  
議長  
編集委員  
委員長  
副委員長  
委員

北村 直樹  
小林 弘之  
羽多野美映  
中村 文映  
清澤 あゆみ  
清沢 正毅